

令和7年 7月 15日

静岡県交通基盤部長
高 梨 記 成 様

静岡県道路舗装協会
会 長 中村 嘉宏



静岡県アスファルト合材協会
会 長 松浦 真明



静岡県砕石業協同組合
理事長 立岩 康男



要 望 書

災害に強い社会基盤構築に向けた予算措置等について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、静岡県の社会資本整備並びに県民の安全・安心な暮らしの確保にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。また、私ども3団体の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私ども静岡県道路舗装協会、静岡県アスファルト合材協会、静岡県砕石業協同組合では、各団体が環境保護、循環型社会への対応、労働災害防止等といった組織活動を通じ、長年にわたり本県の社会資本の整備と充実に尽力してまいりました。

また、各団体が各々の役割をまっとうしながら、3団体として連携協力し一体となって適切な道路舗装施工という社会的責務を担ってまいりました。

区 分	団体設立年	設立から	役 割
静岡県道路舗装協会	昭和25（1950）年	75年	道路舗装工事の施工
静岡県アスファルト合材協会	昭和50（1975）年	50年	アスファルト合材製造、供給
静岡県砕石業協同組合	昭和40（1965）年	60年	アスファルトや舗装用の原材料供給

しかしながら、近年の道路関連需要の減少によって深刻な状況が続いております。

区分	アスファルト 合材製造量		プラント数	稼働率	砕石出荷量 の推移		工場数
基準年：平成元年	約 240 万トン	(対平成元年%)	44	89.6%	約 540 万 m ³	(対平成元年%)	39
令和 4 年	約 130 万トン	(54.1%)	27	43.2%	約 200 万 m ³	(37.0%)	23
令和 5 年	約 120 万トン	(50.0%)	27	39.6%	約 190 万 m ³	(35.2%)	23
令和 6 年	約 105 万トン	(43.8%)	26	34.3%	約 170 万 m ³	(31.5%)	23

このように令和6年時点でアスファルト合材製造数量は平成元年比約56%減、砕石出荷量は平成元年比で約68%減と、いずれも大幅な減少傾向が続いております。

また、これに準じて舗装工事発注量も減少し、舗装工事業者も厳しい経営状況にある状況です。

一方、政府の地震調査委員会による最新の公表では、今後30年以内の南海トラフ巨大地震の発生確率が「80%程度」に引き上げられました。

また、近年は集中豪雨など大規模な自然災害も毎年のように頻発しており、災害発生後の迅速な道路啓開等は、私ども3団体の関係事業者にとっての大きな社会的使命となっております。

このような中、仮に公共事業のボリューム縮小が今後も続いてしまうと、県内におけるアスファルト合材プラント、砕石工場の空白地帯発生リスクがさらに高まって舗装工事業者の確保も難しくなり、結果として、災害発生後の緊急物資輸送などに必要となる迅速な道路復旧に支障をきたしてしまうことが強く懸念されます。

つきましては、引き続き私ども3団体が、災害に強く、安全・安心な社会基盤の構築や維持などの社会的使命を今後も担っていけるよう、下記のとおり要望いたしますので、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 平常時における社会基盤整備事業の継続的推進

- ・ 道路インフラの計画的な維持管理、更新事業の推進など、関係事業者の健全な経営維持につながる公共事業予算の確保
- ・ アスファルト合材プラント及び砕石工場の県内全域を網羅した適正配置維持に向けた支援策の実施
- ・ 公共事業における適切な原材料単価や設計価格等の設定

2 災害発生時を想定した事業や予算措置の推進

- ・ 防災、減災に資する道路整備事業費など国土強靱化に係る予算獲得や関連事業（老朽化対策、修繕等）の積極的推進
- ・ 災害時の早急な道路啓開や復旧に必要な各種資機材の確保を図るため、三団体と県との間で、災害時の応急対策に係る協定の締結
- ・ 災害時に備えた緊急復旧体制確保に係る予算措置

3 将来に向けて業界の持続可能性（サステナビリティ）確保に向けた対応

- ・ 技術継承と人材確保に向けた支援策の実施
- ・ 新材（バージン材）や再生材あるいは製造過程で生まれる副産物など様々な原材料について、適材適所での活用を図る取組の推進
- ・ 環境配慮型技術の導入促進に対する継続的な支援の展開

結びに、私ども3団体は、今後とも静岡県の安全・安心な社会基盤の構築に向け、全力で取り組む所存でございます。

何卒、上記要望事項につきまして、ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

謹白